

実践! CAE 基礎講習

-もう、あなたのCAEソフトを眠らせない

開催期日：平成16年 7月 6日(火)

申込締切：平成16年 6月29日(火)

主催：(社)精密工学会

企画：事業部会企画第1グループ

協賛：大田区産業振興協会/品川区産業振興課/SME東京支部/機械振興協会/軽金属学会/計測自動制御学会/自動車技術会/情報処理学会/電気通信協会/電子情報通信学会/東京都金属プレス工業会/日本金型工業会/日本機械学会/日本工学会/日本工作機械工業会/日本自動車工業会/日本設計工学会/日本塑性加工学会/日本ダイカスト協会/日本鋳造工学会/日本溶接協会/発明協会東京支部/首都圏産業活性化協会(TAMA協会)/タマティーエルオー株式会社/東京湾岸地域大学間コンソーシアムによる社会人キャリア・アップ運営協議会(TOBAC)

今般、製品開発においては高度な付加価値が益々必要になってきています。そのために、設計現場では2D CADから3DソリッドCADを用いた設計業務の展開だけでなく、さらにこのソリッドデータを有効利用したCAE活用による高付加価値設計への対応もまた急務になっています。CAEによる応力解析などの静解析や、振動、音響、熱、流体、磁場などの動解析は、開発のスピードアップや開発のコスト圧縮、新製品の創造に大きな力を発揮しています。この意味で各業種の企業において、従来の単なるCAD設計者からCAE技術をも兼ね備えた人材が有用不可欠になってきています。

一方で、CAEソフトは購入したものの、どこから手を付けて良いのか悩んでいるうちに未使用となったり、誤った使用方法により正しい解析値が得られないことも多いようです。

このような状況を踏まえ、実際に大手自動車メーカーで行われている教育を再現し、皆様に一日でCAEの基礎をマスターして頂けるよう本講習会を企画しました。CAEの基礎知識だけでなく、大学でのCAE実施事例や、自動車の開発で実施されているCAEの事例、また、誰でも気軽に利用できるインターネットを活用したeラーニングの事例をご紹介しますので、CAEの有効活用、導入促進、底辺拡大のご参考になれば幸いです。皆様のCAE活用度を一気に高める良い契機になるとと思いますので、是非ご参加下さい。

日時：平成16年 7月 6日(火)、10時00分～17時00分

会場：中央大学理工学部後楽園キャンパス1号館 2階1225室 (〒112-8551 東京都文京区春日 1-13-27)

*後楽園駅(営団地下鉄丸の内線、南北線)下車徒歩約5分 *春日駅(都営地下鉄大江戸線、三田線)下車徒歩約7分

*水道橋駅(JR総武線)下車徒歩約10分

☆会場 URL: http://www.chuo-u.ac.jp/chuo-u/access/access_korakuen.html

司会：武藤 一夫(職業能力開発総合大学校)、黒田 和之(いすゞ自動車株式会社)

次第

時間	題目	内容	講師
10:00～10:10	挨拶		
10:10～11:05	大学でのCAE教育の現状と研究への活用状況	大学で行っているCAE教育の内容紹介と、研究活動にCAEを活用する際の注意点や具体的な活用事例を紹介します。	中央大学 理工学部 精密機械工学科 教授 戸井 武司
11:05～12:00	自動車メーカーでの、CAE教育の現状と課題	3D CADの普及にともない、このデータの利用が競争力としての開発効率を左右します。CAE基礎教育を行うに至った背景や、CADユーザーに期待するCAEと、専門部署で行っている自動車開発に必要なCAEの事例などを紹介します。	いすゞ自動車株式会社 CAE・技術システム推進部 指導職 杉村 良男
12:00～13:00	昼食		
13:00～13:55	設計実務者のための、有限要素法の基礎	自動車メーカーで実際に行われている教育を受けることでFEMの基礎を理解していただくと同時に、企業ではどの程度の内容を常識として要求しているのかがわかります。	いすゞ自動車株式会社 CAE・技術システム推進部 上級職 高橋 剛
13:55～14:50	CAEモデリングテクニック	正しい結果を得るには解析モデルに工夫が必要です。3D CADデータを用いて、CAE実践のための「正しい」解析モデルを作る際のポイントとなる技法を講義します。	いすゞ自動車株式会社 CAE・技術システム推進部 上級職 高橋 剛
14:50～15:05	休憩		
15:05～16:00	CAE結果評価とレポート作成の方法	問題解決のための正しい計算結果の読み方を講義します。また、自動車メーカーで実践している、正しい結果を得るための取り組み—CAE標準—についてもあわせてご紹介します。ここで使用している、理解度確認のための検定問題もご紹介します。	いすゞ自動車株式会社 CAE・技術システム推進部 指導職 杉村 良男
16:00～17:00	CAEのeラーニング	eラーニングとしてCAEの教育を主催するに至った経緯と、そのホームページの豊富なコンテンツ、活用状況などについてご紹介します。	インターネットカレッジオブFEM 主催 福森 栄次

定員：60名(先着順で定員になり次第締切ります)

参加費：会員(賛助会員および協賛団体会員を含む)20,000円、非会員30,000円【会員・非会員ともテキスト代含む】

学生会員 無料(ただし、資料ご入用の場合は、4,000円をご負担ください)

学生非会員 6,000円(テキスト代含む)

*参加費・テキスト代とも消費税を含みます。

資料：資料のみ、または聴講者で2冊以上ご希望の場合、1冊4,000円

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにて受け付けます。

申込締切：平成16年6月29日（火）

申込先：**(社) 精密工学会**

(〒102-0073 東京都千代田区九段北1-5-9, 九段誠和ビル2F, 電話 03-5226-5191, Fax 03-5226-5192)
(学会ホームページ <http://www.jspe.or.jp/service/seminar/seminar.html> からでも申込出来ます.)